

神を迎える

シリーズ～詩編～

2015/7/26

サウル王の死後

◎ヘブロンでユダ族の王となる

- 「ユダの人々はそこに来て、ダビデに油を注ぎ、ユダの家の王とした。…ダビデがユダの家の王としてヘブロンにとどまった期間は七年六か月であった。」<サムエル記下 2:4,11>

◎サウルの家臣,四男イシュ・ボシエトをイスラエルの王とする

- ユダ族を除く他の部族を支配下に置く

◎ダビデの軍隊とサウルの家臣とが激突する

- ギブオンで初戦。その後も戦いが続く
- 「サウル王家とダビデ王家との戦いは長引いたが、ダビデはますます勢力を増し、サウルの家は次第に衰えていった。」3:1

サウル王の死後

◎ サウル家の将軍アブネルが寝返る

- アブネルもイシュ・ボシエトも暗殺される

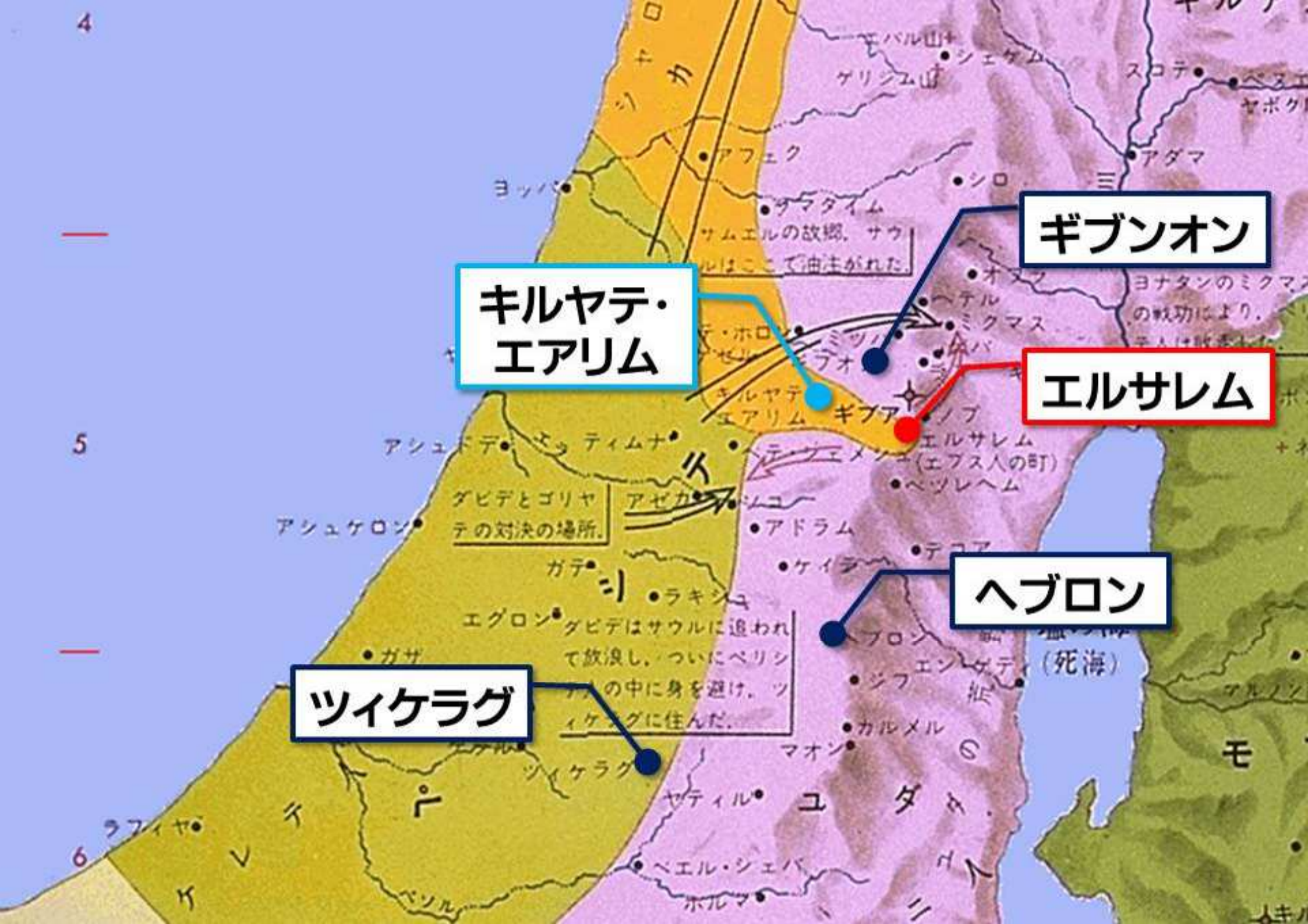
◎ ダビデ、ヘブロンで全イスラエルの王となる

- 「イスラエルの長老たちは全員、ヘブロン¹の王のもとに来た。ダビデ王はヘブロンで主の御前に彼らと契約を結んだ。長老たちはダビデに油を注ぎ、イスラエルの王とした。ダビデは三十歳で王となり、四十年間王位にあった。」5:3-4

◎ エルサレムをエブス人から奪う

◎ ペリシテを討ち滅ぼす

- 「ダビデは主の命じられたとおりに行動し、ゲバからゲゼルに至るまで、ペリシテ人を討ち滅ぼした。」 5:25



キルヤテ・
エアリム

ギブンオン

エルサレム

ヘブロン

ツイケラグ

サムエルの故郷。サウルはここで油注がれた。

ダビデとゴリヤテの対決の場所。

ダビデはサウルに追われて放浪し、ついにベリシヤの中に身を避け、ツイケラグに住んだ。

ヨナタンのミクマススの戦功により、

(死海)

ダビデ、「神の箱」を運び出す

◎「神の箱」(契約の箱)

- 「神の箱」は十戒を記した板が入った1m四方の箱
- 隊列の先頭を進み、至聖所に安置された

◎キルヤテ・エアリムから運び出す

- 精鋭3万人を集め、新しい牛車に載せて(6:1～)

◎ウザの軽率な行為が水を差す

「一行がナコンの麦打ち場にさしかかったとき、牛がよろめいたので、ウザは神の箱の方に手を伸ばし、箱を押さえた。ウザに対して主は怒りを発し、この過失のゆえに神はその場で彼を打たれた。ウザは神の箱の傍らで死んだ。」6:6-7



神の箱をエルサレムに迎える

◎ ダビデは神の箱を運ぶことをためらう

- 「ダビデの町、自分のもとに主の箱を移すことを望まなかった。ダビデは箱をガト人オベド・エドムの家に向かわせた。」6:10

◎ 再び運び出す

- 主がオベデ・エドム一家を祝福された

◎ エルサレムに向かう喜びの行進

- 「主の箱を担ぐ者が六歩進んだとき、ダビデは肥えた雄牛をいけにえとしてささげた。**主の御前でダビデは力のかぎり踊った。**彼は麻のエフォドを着けていた。ダビデとイスラエルの家はこぞって喜びの叫びをあげ、角笛を吹き鳴らして、主の箱を運び上げた。」6:13-15

喜びの歌<詩編24篇>

【ダビデの詩。賛歌。】

地とそこに満ちるもの／世界とそこに住むものは、主のもの。

主は、大海の上に地の基を置き潮の流れの上に世界を築かれた。どのような人が、主の山に上り聖所に立つことができるのか。

それは、潔白な手と清い心をもつ人。むなしいものに魂を奪われることなく／欺くものによつて誓うことをしない人。

主はそのような人を祝福し救いの神は恵みをお与えになる。それは主を求め人

ヤコブの神よ、御顔を尋ね求める人。

喜びの歌<詩編24篇>

城門よ、頭を上げよ

とこしえの門よ、身を起させ。

栄光に輝く王が来られる。

栄光に輝く王とは誰か。

強く雄々しい主、雄々しく戦

われる主。

城門よ、頭を上げよ

とこしえの門よ、身を起させ。

栄光に輝く王が来られる。

栄光に輝く王とは誰か。

万軍の主、主こそ栄光に輝く

王。

エルサレムとなった私たち

◎ キリストの十字架によって取り除かれた神と人との壁

- 「キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し…」エフェソ2:14

◎ 神の方から私たちの所に来て下さった

- 「その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、『神は我々と共におられる』という意味である。」マタイ1:23

◎ 私たちは神の神殿でさえある

- 「あなたがたの体は、神からいただいた聖霊が宿ってくださる神殿であり…」コリント1 6:19

神を迎える

◎ 最深の畏れを抱いて

- 「地とそこに満ちるもの／世界とそこに住むものは、主のもの。」

◎ 細心の注意を払って

- 「潔白な手と清い心をもつ人。むなしいものに魂を奪われることなく」

◎ 最大の歓迎で

- 「城門よ、頭を上げよ。栄光に輝く王が来られる」

◎ 最高の賛美で

- 「主の御前でダビデは力のかぎり踊った。…ダビデとイスラエルの家はこぞって喜びの叫びをあげ、角笛を吹き鳴らして、主の箱を運び上げた。」

“この神は”

主をたたえよ ×4

日々、わたしたちを担い

救われる神を ×2

この神は わたしたちの神

この神は 救いの御業の神

この神は わたしたちの神

この神は 死から解き放つ神

<詩編68篇20~21節>